

第2学年1組 道徳の時間学習指導案

平成27年6月25日(木) 第4時限 2年1組教室 指導者 後藤 三奈

1 主題名 「しょうがいをのりこえて」(1-(2) 勤勉・努力)

資料 「おかざきのはつめい王」 出典 おかざきの心醸成プラン「夢をつむいだ人々」

2 学習目標

- (1) けがにも負けずに自分で自助具を作ろうとする源重さんについて知り、あきらめずに前向きに努力を続けようとする心情を養う。
- (2) 万能ホルダーを完成させた後も、障がいをもつ人々の要望に合わせて自助具を作り続けて「三河のエジソン」と呼ばれるようになった源重さんの生き方を知り、その生き方から自己の生き方についての考えを深め、周りの人と協力しながらよりよい社会をつくろうとする心情を養う。

3 構 想

本学級の児童は、4月からほとんど欠席もなく元気に登校し、楽しく学校生活を送っている。係の仕事を進んで行ったり、清掃活動を一生懸命にしたりするなど、やる気に満ちた行動が多くみられる。しかし、その一方で、授業で出題された問題が分からないと集中力を欠き、よそ事をしてしまうなど、すぐにあきらめてしまう児童も少なくない。

児童にとってそれぞれ能力に差はあり、好きなこと、嫌いなこと、得意なこと、苦手なことはあるが、あきらめずに努力をすることは、これから生きる上でとても大切なことである。本学級の児童に、苦手なことや嫌いなことでも続けることの大切さに気付かせ、あきらめずに努力しようと思う気持ちを高めたいと思い、本テーマを設定した。

また、本学級の児童は、できていないことや、友達の悪いところをよく見ており、粗探しをしている場面も見られる。その折は、お互いに指摘し合い、口論となることも多い。しかし、そのような子たちでも、人の手伝いをしたり心配りのある行動をとったりできる。友達の悪い行動に注目するのではなく、よいところをもっと感じてほしいという願いがある。そこで、自分のためだけでなく、困っている人のために今も自助具を作り続ける岡崎市在住の加藤源重さんの話を聞き、共感し、他者のために行動することが自分の喜びにつながるという心情を育てるとともに、源重さんが大事にしている言葉である「思いやり」と「ありがとう」の精神を培い、よりよい人間関係を築き上げたい。

本資料「おかざきのはつめい王」(1-(2)勤勉・努力 出典 おかざきの心の醸成プラン「夢をつむいだ人々」)は、加藤源重さんの自伝である。56才の時、機械に右手を挟み手首から先をなくした源重さんは、これまでの知識を生かして、右手の働きを助ける器具を考える。しかし、義手や義足を製作するところへ行き、器具の製作を頼んでも断られたため、自力で万能ホルダーを完成させたという内容である。右手の機能を失った状態で、何度も失敗をしてくじけそうになりながらも、ごはんをおいしく食べたいという思いや家族の支えを助けに、努力した強い心を知り、人に頼らず自ら努力する大切さを学ぶことができる。また、源重さんは、製作を頼んでも断られた経験から、万能ホルダーを完成した後も、身体に自由が利かず困っている人から要望されたものを作っている。他人を思いやる気持ち、相手を敬う気持ちを高めるのに適した資料であると考えられる。

本題材の資料は、文章が長いため、2年生にとっては理解が容易ではないと考えられる。そこで、源

重さんのDVDを見せたり、右手の指を失った大変さや不自由さを体感させたりするために、実際に利き手をグーの手にして筆箱を開けたり鉛筆を持ったりする体験をする。また、場面絵を紙芝居にして見せながら話を途中で区切って発問をしていく。主発問の「青あざだらけの左手を見たとき」の源重さんの気持ちを考える場面では、吹き出し付きのワークシートに書かせることで気持ちを書き易くする。そして、主人公の心の葛藤を視覚的に把握しやすいように、うまくいかなくてあきらめたい気持ちと何とでも作りたい気持ちを黒板上で分類して板書する。終末には、「今まで自分があきらめなかったこと」を振り返らせ、自分自身には過去や現在、努力した（している）場面があるのか考えさせたい。

第2時では、源重さんは自分の願いが叶っただけで終わらずに、困った人の要望に応じて自助具を開発し続け、障がいをもった人の暮らしに役立てているということを知らせる。また、源重さんの大事にしている言葉や自助具を紹介したり体験させたりすることを通して、岡崎の偉人の生き方を知り、自分のことだけではなく周りの人のことも考えて行動する心を育てていきたい。

5 学習計画（2時間完了）


学習課題	学習内容	時間
げんじゅうさんの気持ちを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに、話し合い活動を行う。 けがにも負けず努力し続けた源重さんの姿から、あきらめずに努力することの大切さを学ぶ。 	1 (本時)
げんじゅうさんにお手紙を書こう	<ul style="list-style-type: none"> 自助具を体験する。 人のために行動する素晴らしさを知る。 源重さんに手紙を書く。 	1 (特別活動)

6 本時の学習指導

(1) 本時の目標

- 障がいを乗り越えて生きていこうとする姿に気付かせる。
- 自分の目標に向かって強い意志を持ち、前向きに努力していこうとする心情を養う。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 師 の 支 援
導 入 5	1 加藤源重さんの写真を見て、人物像について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真を黒板に貼付し、名前を紹介する。人物への関心を高めるために、機械にはさまれて右手を失ってしまった部分を見せる。 源重さんの様子を把握しやすいように、映像を見せる。
展 開 2 5	2 右手（利き手）を握った状態で、鉛筆を持ったり筆箱を開けたりする。 3 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">げんじゅうさんの気持ちを考えよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> 右手が使えない源重さんの不自由な生活を体感させるために、児童に自分の手を握って行うように指示をする。
	4 資料「おかざきのはつめい王」(P.7)	<ul style="list-style-type: none"> 源重さんの心情の変化に浸れるようにする

5 行目まで) を聞き、「手をうごかすどう
ぐをだれも
作ってくれ
ないと分か
ったとき」の
源重さんの
気持ちを発表する。



- ・なんで作ってくれないの
- ・いやな気持ち ・悲しい気持ち
- ・作ってほしい ・左手で作ろうかな
- ・自分で作ろう

5 話の続き (P.8 10 行目まで) を聞
き、「青あざだ
らけの左手を
見たとき」の
源重さんの気
持ちを考え、
ワークシートに記入し発表する。



- ・右手が使えたらいいのに
- ・いたいな
- ・これでまた作れるのかな
- ・あきらめようかな
- ・どうすればいいんだろう
- ・いたいけどやるしかない
- ・かんせいさせたいな
- ・青あざだらけでもがんばろう

6 P.9 10 行目まで
の話聞き、
「万のうホルダーがかん
せいしたとき」の源重さ
んの気持ちを考え、発表
する。



- ・すごくうれしかった
- ・何回もやったかいがあった
- ・これで何でもたべられる
- ・作ってよかった
- ・あきらめなくてよかった

自覚
10
終末

7 今まで自分があきらめずにしてよかつたことを書き、発表する。

8 教師の説話を聞き、源重さんが、あき

ために、場面絵を見せながら、ゆっくりと読み聞かせる。

・状況を把握しやすいように黒板に場面絵を貼付する。

・指をなくして辛い上に、断られて悲しい気分になっている心情をおさえる。

・場面絵を見せながら、読み聞かせをする。

・読み聞かせの後、源重さんの作業の様子を把握しやすくするために、実物のハンマーを右手につけて実演する。

・葛藤する源重さんの気持ちを考えやすくするために、吹き出し付きのワークシートを配付し、記入するように指示する。

・机間巡視して、座席表に児童の考えを気持ち別に分類して書き留める。

・主人公の葛藤する気持ちを視覚的に捉えやすくするために、あきらめたくない気持ちとあきらめたい気持ちを上下に分けて板書する。

・作れるのか心配、あきらめたいといった悲観的な気持ち、うまくいなくて途方に暮れる心情を押さえる。

・源重さんが万能ホルダーを持っている写真を提示しながら、読み聞かせをする。

・提示した写真を黒板に貼る。

・源重さんのあきらめない気持ちをおさえる。

・今までの生活を振りかえさせる。

・実際に会って話をしたこと、完成した後も

2	<p>らめなかったことで、今では多くの人が助けられているということを知る。</p>	<p>困っている人のために頼まれたものを作っていること、今も作り続けていること、「三河のエジソン」と呼ばれていることを紹介する。</p>
---	---	--

(3) 評価

- ①障がいを乗り越えて生きていこうとする姿に気付くことができたか。(活動6の発表から)
- ②自分の目標に向かって強い意志を持ち、前向きに努力していこうとする気持ちを高めることができたか。(活動7の感想から)

(4) 板書計画

顔写真

- ・うれしい
- ・作ってよかった
- ・あきらめないでよかった

場面絵

- ・いたいけどやるしかない
- ・青あざだらけだけどがんばろう
- ・あきらめないぞ
- ・もうむりかな
- ・あきらめようか
- ・左手もつかえなくなるかな
- ・どうしよう

場面絵

- ・かなしいな
- ・なんで作ってくれないの
- ・これからどうしよう

青あざだらけの左手を見たとき

- ・いたいな

顔写真

右手のうつった写真

- ・かとうげんじゅう

げんじゅうさんの気持ちを考えよう

- ・手をうごかさ道ぐをつくってもらえないと分かったとき